



Dream

2012 年 2 月号

Vol. 44-8 2012. 1. 2

Bulletin

会長標語 熱き絆

国際会長主題 「とにかくやろうー 成せば成る」

Finn A. Pedersen (ノールウェイ)

アジア地域会長主題 「とにかくやろうー 成せば成る」

Wichian Boonmaparjorn (タイ)

西日本区理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)

中部部長主題 「先ず一歩 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」 長谷川和宏 (名古屋東海クラブ)

クラブ主題 「限りなき熱情を奉仕に」

今月の聖句

私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕えようとして、追求しているのです。そして、それを得るようにとキリスト・イエスが私を捕えてくださったのです。兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕えたなどと考えるてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。

ピリピ人への手紙 3 章 12 節～14 節

強調月間 TOF・CS・FF

2 月例会ご案内

◎2 月第 1 例会

日時:2 月 9 日(木)18:45～20:45

会場:名古屋 YMCA 3 階会議室

担当:遠藤彰一君・鈴木孝幸君

服部敏久君・八木武志君

開会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長

ワイズソング

5つの信条 山村喜久君

報告

－ オークション －

メンバースピーチ 伊藤貴久君

閉会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長

2 月第1例会のプログラムは「オークション」で

す。皆様からの品物の提供をお願いします。

また、2 月はTOFのため食事はありません。

開催場所もお間違えの無いように。

◎2 月第 2 例会

日時:2 月 16 日(木)19:00～

場所:名古屋 YMCA

出席義務者 橋爪良和君

◎西日本区次期会長主査研修会

日程:3 月 10 日(土)、11 日(日)

場所:新大阪チサンホテル

◎中部評議会

日時:3 月 20 日(祝・火)13:30～14:30

YYY フォーラム 15:00～18:00

* 東日本大震災支援街頭募金

震災後、毎月 11 日に実施されてきた街頭

募金は、1・2 月は実施いたしません。

現在、震災後 1 年となる・3 月11日の実施

内容を検討中です。

1 月報告 (1 月 19 日現在)

在籍者:正会員 21 名 広義会員 1 名 出席者:20 名 メネット 1 名 出席率:100.0%

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を!

強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う。



会長メッセージ ⑧

会長 柴田 洋治郎

キリスト教について

 ワイズメンズクラブに入会し、YMCAとも交流するにつれ、当然のこととして、キリスト教にも接する機会が増えてきました。私はキリスト教徒でもなく、その他の宗教を信仰する者でもありませんが、以前から日本の文化、歴史に興味を持つ者として、文化の中の宗教にも最近関心を持つようになりました。以下、最近読んだ宗教関連図書を基に少し自分の意見を述べたいと思います。

我々日本人の多くは宗教に無関心なのか、義務教育でも宗教のことは歴史の教科書で各宗教の歴史程度がさりと述べられる程度で、家庭でも盆、正月や冠婚葬祭の除けば殆ど意識しないで生活が営まれているように感じられます。しかし、伊勢神宮に行けば、その静謐で荘厳な雰囲気には心を動かされますし、その空間は2千年の時を経ても同じものであることに、不信心な私でも神々の信仰が呼び覚まされる気がします。また、日常会話の中では仏教用語が数多く使われており、最近では少なくなってきましたが、家には神棚や仏壇があり、無意識のうちに私たち日本人は神道、仏教、儒教（倫理）が根付いているように思われます。ただし、ここでいう神道は遠い祖先が、小さな共同体の中で五穀豊穡、自然の脅威からの守護への自然発生的な祈りから生じたもので、経典のような体系的なものはないので、キリスト教や仏教といったジャンルとは少し異なるかも知れません。

さて、キリスト教ですが、日本ではキリスト教徒は1%にも満たない数ですが、全世界では総人口60億人の3分の1が信仰する最大宗教です。ワイズの仲間が唱える聖句を聞くうちに、私はキリスト教にもっと関心を持つべきと思うようになりました。なぜなら西洋文明イコールキリスト教であり、日本の近代も明治以降、この西洋文明を大々的に取り入れ、特に戦後日本は好むと好まざるとにかかわらず、日本国憲法、民主主義、市場経済、科学技術、文化芸術が米国主導によりもたらされたもので、その精神はキリスト教に根付いているからです。近代資本主義もカルヴァンのプロテスタンティズムを拠り所にし、マルクスの資本主義批判も人間の労働価値が商品となり、貨幣となり、資本となり物心崇拝されたとの論法はキリスト教の偶像崇拝批判と同じであり、世界革命は終末論と似通っている。日本の法律もヨーロッパのものをモデルにし、契約という概念もその元

をただせばキリスト教に行き着く。これ以外にも、日本には、他にもキリスト教（精神）に基づくものは数多くあると思われますが紙面の都合でこの程度にしておきます。聖書を読んだこともない私がキリスト教云々というのは甚だ僭越で、表面的なものかもしれませんが、日本の文化、歴史を語るうえでも大変重要な、興味あるテーマなので敢えて述べさせていただきました。

1月第1例会報告

1月12日 ラ・スースANN



当たらないより当たった方が、曲がるより曲がらないのが楽しいゴルフ。自己流で始めるケースが断然多いなか、プロから見たスイングの基

本は？。1月例会の卓話は、吉村禎次氏（愛知カンツリー倶楽部支配人）を招いた。

吉村氏は 66 歳。愛知県立旭丘高校（部活はボート部）卒業後、昭和 40 年に宝塚高原ゴルフ倶楽部でキャディーになり、42 年に愛知カンツリー倶楽部にアシスタントプロとして入社。49 年に 28 歳でプロテストに合格した経歴を持つ。昨年 4 月からは同カンツリーの支配人を務めている。

ゴルフ好きの出席者が多いことから、今回はQ&A方式で卓話を進めた。「練習場やスタート前ではいい球が打てるのに、コースに出ると失敗ばかり」の質問には「練習球はウォーミングアップ程度に抑えるべし。いいポイントで球を捕えていると逆に自信過剰になり、コースでリズムを乱してしまうことがある」。そんなときはラウンド中の素振りスイングが効果的という。ドライバー、アイアンで軽くコンパクトに繰り返し、振るだけでもリズムが保たれる。「自宅でもできるし、お金もかからず、お奨めしたいレッスン」と話した。

また、テレビやゴルフ雑誌でプロがスイングなどを教えているが、あくまでもプロ自身が経験から身につけたもので、それを自分にはめようとしても感心しない。書いてあることを鵜呑みにしても多分、いい結果は出ない。自分に合ったスイングを、たとえば先生について会得した方が上達は早い、とアドバイスした。

女性会員からは「会員権が下がってしまい、どう処分したらいいのか」と、実利的な質問も飛び出し、吉村氏が返答に困る場面もあった。(菅沼・記)

1月第2例会報告

- 1月第2例会での決定事項は以下のとおりです。
- ① 2月例会はオークションで担当は遠藤、鈴木孝幸、服部、八木君の4人。部屋は3階の小会議室を借りる。提供品物が少ないことが予想されるのでブリテンで多くの品物の提供を呼び掛ける。
 - ② 次期クラブ会長は鈴木一弘君に決定。なお、例会日は鈴木君が講義の都合で木曜日は出席が無理なので7月より一年間例会日を第二金曜日に変更する。ラ・スースには変更の連絡済みで、了解を得た。第二例会も第三金曜日とする事が決定された。
 - ③ 中部Yサ主査を松本君にお願いしたい旨伝える事とした。
 - ④ 第16回西日本区大会実行委員会の報告がされた。
 - ⑤ 鈴木一弘君より東日本大震災の救援活動の報告がビデオで紹介され、根の上キャンプ場の活用や、例会での講師に招きたい等の提案がされた。
 - ⑥ 後期半年報を提出し野崎君が12月末で退会した旨報告がされた。
 - ⑦ 後期西日本区費は21名で納入しBF,TOFなども21名分で納入することが確認された。
 - ⑧ じゃがいものファンドが23,500円だった事が特別会計より報告された。
 - ⑨ 3月20日13:30分より14:30分迄中部評議会が開かれ、15時より18時迄YYフォーラムが開かれる事が報告された。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

中部便り ⑧

中部部長 長谷川 和宏

後期半年報の結果に引きずられ頭の痛い月初めから、やっと脱することが出来たのはなんと言っても19日(木)の四日市、26日(木)金沢犀川の両クラブへの入会式・例会出席でした。

四日市クラブの

新入会員入会式・例会を訪ねて

これまでと違った四日市クラブ。チャリティー講演&音楽会をはじめ独創的なプランを思いっきり実行に移し、皆で結果を背負うというスタイルを確立しつつある四日市クラブ。そこにはリスクを背負うが、何とか今の状態を打開し、活力のある活動の中でリーダーシップとメンバーシップを高めるという強い意志を感じます。YMCAとの協調、ワイズシニアからの継承、リーダーの育成に課題があるという。例会に向けての準備そして後片付けの結束力、協力は驚異的。そこにパワーが生まれぬ訳はないと感じた次第です。

おいしい海鮮チジミ、十勝ジャガイモチジミを

焼き上げ、最後はチャリティー小豆でぜんざいまでをみんなで完食。楽しんで食べて、学んで、働いて交わるワイズを地で行った例会でした。おまけに塩川さん、桜井さん2名の入会式。「今夜四日市には、星3つつ!!」を捧げたいと思います。

最後は四日市クラブの今後に期待を一層強めることができました。

金沢犀川クラブの

新入会員入会式・例会を訪ねて

1月26日(木)、今冬一番37㌧の大雪の中、金沢へ向かいました。今回も八木書記と共に初めての金沢YMCA訪問。澁谷ワイズを通じ金沢YMCAの長い苦難の歴史を知ることとなった。

未だ冬の只中にある金沢YMCAを支えているのが金沢と金沢犀川ワイズメンズクラブです。小さな事務所にはまだ先がはっきりとは見えないが、垣間見る資料から、金沢地区の大学やユースへのワイズメンによる地道な働きかけの様子。必ず、近い将来再びYMCAとワイズメンズクラブにスポットライトが当たる時が来る。金沢犀川ワイズメンズクラブ6名で何が出来るのかと考えていた時、親クラブ金沢との協力、地域の他団体との協調企画や連携が模索されていた。もっといろいろ見聞きたかったが次回へ。

次いで若松EMC主査も加わって、金沢犀川クラブの1月例会へ。入会式の他に、今月で3回目の俳句入門プログラムが今月の目玉でした。女性会員やメネットへのアクセス、楽しい例会への知恵の出し合いから生まれた企画のようだ。短い時間ながら楽しい俳句入門例会でした。例会を盛り上げるために全員参加で準備段階から参画するスタイル。ここにも犀川クラブらしい姿を見た感じがします。

「冬を詠む」句会で私長谷川が推薦した1句
消雪の放水またぎ 子ら遊ぶ

詠み人：平口哲夫

3年ぶりの新人入会式はそんな金沢犀川クラブの活動へのよき友からのご祝儀なのだろう。竹中さんの入会を中部ワイズメンこぞって、心から歓迎いたします。ワイズの活動を楽しみながら一步一步踏み込んでいかれることを望みます。次々期には平口ワイズが中部を先導されることになっています。それまでに、一回りも二回りも、太く力強いクラブになっているのを願っています。例会後のカラオケ懇親会は、ワイズメンの思いがけない横顔を知る機会ともなりました。翌日には雪の兼六園、能楽堂、美術館見学を楽しみ、思いを一杯にして帰路に就きました。

最後に、紙面を借りて北会長他の皆さんに感謝申し上げます。

